

遂げてきました。さらに国際社会における競争力強化を図るためには、素形材産業も DX の導入及び活用が必要不可欠と考えられます。このような状況の下、更なるデジタル技術活用による生産性・品質等向上のため、下記プログラムによるセミナーを企画いたしました。鑄造分野と共に機械加工分野も含め、多様な側面から具体的な活用の取組みをご紹介します。

令和 6 年 1 月 30 日（火）10:00～16:20 オンラインセミナー（Cisco Webex Meetings）
コーディネーター 大同大学 前田 安郭 氏

1. DX 技術×最適化技術を活用した製造現場における生産性の向上
三重大学大学院 矢野 賢一 氏

2. 鑄造 CAE における V&V の考え方と事例
大同大学 前田 安郭 氏

3. エンドミル加工を対象としたシミュレーションの進化とデジタルツインへの展開
神戸大学 白瀬 敬一 氏

4. 素形材 DX における CAE 開発・活用を加速する仕組みと人材育成
トヨタ自動車(株) 成瀬 剛史 氏

5. 生型量産ラインにおける ICT を用いた品質改善活動の取り組み
(株)クボタ 白沢 卓大 氏

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。

<https://www.sokezai.or.jp/files/libs/1849/202312061120464110.pdf>

■センターの技術セミナーのスケジュールは、こちらをご覧ください。

<https://www.sokezai.or.jp/pages/110>

【問合せ先】

一般財団法人 素形材センター 企画部

e-mail:kensyu@sokezai.or.jp

oo

A-2. 素形材技術セミナー

「金属プレス加工のデジタルトランスフォーメーション（DX）・第 2 弾

中小製造業が IT ベンダーを活用する際の『心得』と『成功事例』締め切り延長！！

DX 推進のセオリーは、まず、IT の活用によって自社が「何を」、あるいは「何処を」目指すべきかという経営戦略を策定、次にはその戦略を実現するための戦術を練り、そして実行に移すということになる。この一連の流れにおいて、戦略はあくまでも経営者が策定すべきである。なぜなら、企業の状況を最も熟知し、その責任の所在は経営者にあるからである。戦略の策定をも IT ベンダーに丸投げし、失敗に至る事例は多い。一方の戦術・実践では、高度な IT 技術を身に付けた人材が必要となる。IT 技術者が不足する中、中小製造業が個別に雇用するのは難しい。社内での人材育成もそう簡単な話ではない。IT ベンダーの力を借りるのも解決策の一つとなり得よう。本セミナーでは、失敗しない IT ベンダー選択のための注意事項と、すでに IT ベンダーを

ジェトロでは、アジア地域の現法に経営幹部として赴任予定の方を対象に、「中小企業海外ビジネス人材育成塾・現法経営（現地法人経営講座）」を開催します。

本講座は海外現地法人の経営基礎を学ぶ、オンラインの赴任前研修です。全5回の講義やグループワークを通じて、経営者の役割、経理・財務・税務、人事・労務、工場管理、赴任先の現地事情といった基礎的な経営知識・スキルを速習します。

現在、今年度最後となる1月期の参加お申込みを受け付けております。先着順に審査を行いますので、ご関心のある方はお早めにお申込みください。※本講座は中小企業（製造業）の社員の方限定です。応募要件は以下 URL よりご確認ください。

■詳細・お申込

<https://www.jetro.go.jp/events/igc/55e396b7af414fe5.html>

【お問い合わせ先】

ジェトロ海外ビジネス人材育成課（担当：下江、近藤、色川）

Tel: 03-3582-8355 E-mail: genho@jetro.go.jp

oo

C-3. 第 354 回塑性加工シンポジウム「極限材料創製・加工技術の現状と展望」

－衝撃・超高速・超高圧力を用いる加工の世界－

【一般社団法人日本塑性加工学会】

本シンポジウムでは、高速の衝突現象や高エネルギー状態を用いる各種の極限材料創製・加工技術に焦点をあて、それぞれの技術の先端的な内容や将来について展望する。各種の極限環境を用いた材料加工技術は、材料の組織や特性に大きく影響するものの、そこにあるプロセスの本質は、一般に広く理解されていない領域が多くありそうに思われる。ここでは、高速現象を利用した異材接合、ナノ・マイクロ加工、材料表面のピーニング加工に加えて、巨大ひずみ加工など、塑性加工に関連する特殊な極限加工技術について、最新の技術開発の動向を講演頂き、討論する。

- ◆日 時：2023 年 12 月 14 日（木） 10:30～16:30
- ◆会 場：熊本大学黒髪南キャンパス 衝撃極限環境研究実験棟 3 階セミナー室
- ◆定 員：60 名（対面 20 名 / Web 参加 40 名）（定員になり次第締切ります。）
- ◆締 切：2023 年 12 月 4 日

■詳細・申込については下記 URL をご覧下さい。

詳細 <https://www2.jstp.jp/event/event.php?mode=detail&id=1380>

申込 https://www2.jstp.jp/event/event-entry.php?event_id=1380

oo

C-4. 第 95 回塑性加工技術フォーラム

「カーボンニュートラルに向けた製造業の最前線」

【一般社団法人日本塑性加工学会】

【一般社団法人日本鍛圧機械工業会】

本フォーラムは、日本鍛圧機械工業会と日本塑性加工学会の共催による企画行事です。今回で第 5 回を迎える本フォーラムでは、カーボンニュートラルに向けた製造業の最前線に

